

アルストロメリアの大麦焼酎粕施用

農業研究部・花きグループ

1. 研究の背景

本県花き栽培の低コスト化を進めるため、アルストロメリアを対象に県内に安定した品質で豊富に存在するバイオマス資源である大麦焼酎粕を肥料として活用する栽培技術の確立を目指す。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- ・大麦焼酎粕原液を作付前のアルストロメリア圃場に1 t / a 直接散布する。
- ・年内収量及び株あたり収量が向上する。
- ・切り花品質は慣行施肥法と同等であり、障害の発生等はみられない。

表1 収量及び品質調査結果

品種名	試験区	年内収量	年間収量	調整重 (g)	茎径 (mm)	花梗数 (本)	花梗長 (cm)	下垂度 (度)
		(本/株)						
ポエム	1.0t区	13.6	52.2	62.9	7.7	5.6	8.7	2.0
	2.0t区	12.2	48.0	63.0	7.9	5.6	9.0	2.9
	慣行区	8.4	35.2	59.8	7.5	5.4	8.6	2.6

※年内収量は12/21までの採花本数、調整重は70cmに調整後の重量



図1 散布風景



図2 栽培状況(左:慣行区、右:焼酎粕区)



図3 収穫物

3. 期待される効果

- ・本技術の導入により、窒素成分で10 aあたり60kgが焼酎粕により供給されるため、運搬費用を差し引いても97,000円程度コストが削減できる。
- ・また、焼酎粕の有効活用は排出業者にもメリットがある。

4. 担当機関連絡先

花きグループ 花きチーム

TEL : 0977-66-4706 FAX : 0977-67-5218 住所 : 別府市大字鶴見710-1